

ベネズエラ

十月社会主義革命の示唆と価値は今も失われていない

セイコウ - イシカワ (駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使)

今年もまた、世界の労働者階級、公正な大義に共鳴する人々、反帝国主義の諸国民、国際連帯を推進する人々が集まり、ロシア十月社会主義革命を記念しています。この歴史的な出来事から一〇六年が経つ今も、その示唆と価値は失われていません。記念日に際し、〈活動家集団 思想運動〉に友愛の挨拶を送ります。自らの大義の原則を忠実に守り、この革命の歴史的遺産を毎年評価し直し続けることで、人間同士が搾取する構造を排し、連帯と社会的正義による世界を構築すべく弛まず取り組む闘士たちです。

戦争は人類にとってもっとも恐るべき脅威の一つであり、日本はそれを身をもって体験した上、灰燼から立ち上がることを事実上余儀なくされました。今日、戦争は蘇り、多くの命を奪い、ウクライナ、ロシア、イスラエル、パレスチナの人民を苛烈な苦しみに陥れています。

ウクライナの地でロシアと武力衝突することを選んだ米国とそのNATOの同盟国の立場、そして主にガザ地区の民間人に影響を与えるイスラエル政府の過剰な対応は、諸国民を抑圧して、考え方、統治方法、生き方までを押し付けようとする帝国主義的闘争が表面化したものです。

とりわけ重要なのは、声を合わせて世界の平和、衝突の即時停止、交渉、そして危機を解決する方法として政治を求めることです。ユニラテラリズム（一国主義）の単独行動が生む脅威からかけ離れたより公正・公平な世界秩序を実現するため、世界政治の多極化を押し進める時です。

さらに、多数の国の人々の運命を左右しその発展を妨げる、静かな脅威もあります。その一つが、米国とその同盟国がロシア、キューバ、ベネズエラ、イランなどの国々に実施している一方的強制措置（制裁とも呼ばれる）です。一方的強制措置では経済が主な武器として使われ、自分と異なる考えや行動を取るものは人類への脅威だと位置づける二元論的言説によって正当化されているのです。

このように複雑な現実の中、思想運動のメンバー各位にはベネズエラとボリバル主義革命に一貫して連帯していただいていることに感謝したいと思います。また、ロシア十月社会主義革命の記念日にあたり、わたしたちの平和主義・反帝国主義の使命を改めて表明するとともに、より良い未来に向け、あらゆる人にとって連帯・協力・相互補完性・社会的正義のある世界を築くべく尽力する意志であることをお伝えします。

二〇二三年十月二十一日

(見出しは編集部による)